

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの地域での暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■期日

2015年7月26日（日）9：00～12：00（3時間）

■会場

三田市新地区公会堂

■参加者

35名（子ども16名、子ども会育成者8名、防災士11名）

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、体験学習としての防災まちあるきを体験し、防災・減災に向けて日ごろからの暮らし方を考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
9：00	あいさつ 三田市子ども会連絡協議会会長 今西竹夫
9：05	オリエンテーション
9：15	お話し「まちの防災・減災について」語り部 今西竹夫
10：00	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレーキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
12：00	あいさつ 三田市子ども会連絡協議会会長 今西竹夫

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 三田市子ども会連絡協議会会長 今西竹夫
スタッフ・記録 青少年活動リーダー 4名

■会場の様子



語り部



まちあるき



まとめ



発表

■こどもたちによる防災の心得

- ・家族で避難場所を決めておく
- ・家の中に危ないもの、役立つものがないか見ておく
- ・家の周りを見回しておく
- ・食べ物、飲み物を準備しておく
- ・防災バックの用意と点検
- ・家の中や自分の部屋を整理整頓しておく
- ・普段から町の人にあいさつする